

## 特定非営利活動法人 PI-Forum〔ピーアイ・フォーラム〕

### 第9回 定期総会 (平成22年6月18日)

### 議案書

第1号議案：平成21年度事業報告等について

第2号議案：平成22年度理事会運営等について

第3号議案：定款変更について

第4号議案：平成22年度事業計画等について

PI-Forumでは、設立8年度にあたる平成21年度事業を終了し、会員各位に対するご報告を行うとともに平成21年度の活動実績を踏まえた平成22年度の事業計画についてお諮りするものです。

今年度の活動を実り多きものとすべく、総会での審議をお願いしたいと存じます。

平成22年6月18日(金) 18時30分開会

於：徳島大学サテライトオフィス東京

# 第1号議案：平成21年度事業報告等について

## 事業報告

### はじめに 議案の趣旨

本議案は、平成21年6月24日第8回定期総会において承認された平成21年度事業計画等の実施結果についてご報告するものです。

### 1. 事業の成果

#### 1) 広報啓発事業

「PI-Forum 誌発行事業」(担当：松浦) 事業提案書 No. 1

##### [実施概要]

PI-Forum 誌の発行により、学術分野や立場を問わず、ミクロからマクロまで、PI-Forum の定義する3つのPI (public incubation, public initiatives, and public involvement) に関心のある研究者、実務家の理論、言説、仮説などを、テーマを定めた上で収集し、定期的に共有する。

##### [事業成果]

第4号「食と医療の合意形成」を2009年12月に発行した。なお今年度は広告収入がなく、印刷配布も行っていないので、収支ともに0円である。

「PI-Forum 年次セミナー2009」(担当：山中) 事業提案書 No. 2

##### [実施概要]

本事業は、合意形成の知識・実践に関心を持つ各界・各層の方々に関われた共創の場として、2004年度から5年に渡って開催してきたPI-Forumの最大規模の成果発表会である。我々が蓄積してきた様々な知識や情報を広く伝えることで、PI-Forumの活動を広く知らしめると共に、PIや合意形成への関心を高め、人的ネットワークを拡大することを目的としている。

6年目を迎える今回は、四国WSとして四国内で実施してきた土木学会とのジョイント企画とし、収益の確保とセミナー内容の充実に取り組むことを目標に準備を進めていたが、公共事業予算縮小や経済状況の悪化に伴い、これまで連携してきた各種団体の活動や研究予算が大幅に縮減されたほか、協賛スポンサーの支援が中止となったことから、開催のための予算及びリソース確保上に問題が生じたことからセミナーの開催を断念し、代わりに次年度以降の活動方針や事業企画について検討する懇談会をPI-Forum及びその活動支援メンバーとともに開催した。

##### [事業成果]

懇談会は理事及びこれまで講師等で活動を支援して下さったメンバーで3回開催することができ、次年度以降のPI-Forumの活動方針やイベント企画等について議論をすることができた。これまで継続して開催してきた年次セミナーが開催できなかったことは非常に残念であるが、次年度以降、新たな形でより内容の濃い活動絵を実施することに懇談会での意見を有効に活かしていきたいと考える。

異分野PI交流ワークショップ(将来展望編)

(担当：松浦) 事業提案書 No. 3

##### [実施概要]

これまで異分野交流WSが開催されてきているが、今年度は「合意形成推進ロードマップ」

や「合意形成推進シナリオ」といった長期ビジョンを今後検討することを念頭に置きつつ、さまざまな分野で「合意形成」に対するニーズへとつながりそうな動きとしてどのようなものがあるのかを把握するとともに、異分野間のコラボレーション促進を目的にWSを実施する。

**【事業成果】**

本年度は登壇者のスケジュール調整や予算確保の面から開催することができなかったが、東京大学合意形成研究会が合意形成論 Brown Bag Lunch の開催を予定しており、今後その開催支援を行うことで所期の目的を一部果たすことができると考えられる。

**PI-Forum 連続セミナー2008（担当：小松）事業提案書 No.4**

**【実施概要】**

昨年度同様、PI-Forum が主催者となってP Iに関する各種のセミナーを6回連続のパッケージとして開催の準備を進めてきたが、参加者が定員に達せず、開催することができなかった。

**【事業成果】**

昨年度は11名の参加者を集め、大変盛況だった本セミナーであるが、経済不況による参加企業の研修予算削減といった外的要因もあるものの、広報不足や昨年と同じ内容のセミナー企画、前回参加者へのフォロー不足など内的要因も大きく影響しての中止となった。

また、これまでは理事関係者をはじめとする既存ネットワークでの参加呼びかけに頼っていた面があったが、今後同様のセミナーを開催する際は、広報の予算やメンバーを確保し、一般企業をはじめとするこれまでPI-Forum があまり接点を持っていなかった方々にも広く広報し、合意形成の普及啓発につながるセミナーの開催を意識することが重要と考える。当然、それにとまなうセミナー企画の大幅な見直しも必要であると考え、今後はこれまで事実上の中心となってきた公共土木工事関係以外での異分野の業種の方々にもうけいれられるセミナー内容の検討が重要と考える。

**2) 研究開発事業**

**PI 指針と倫理・評価に関する規定展開事業（担当：矢嶋、城山）事業提案書 No.5**

**【事業概要】**

「PI 指針」、「PI 評価項目」の広報に努める。「参加プロセスの実務者倫理」の検討を深める。

**【事業成果】**

広報活動の一環として『地方自治職員研修』2009年7月号に「参加型プロセスの評価項目」を発表した。「参加プロセスの実務者倫理」への現場からの意見聴取を試みた。

**3) 現場支援事業**

**現場支援の試行（担当：山中） 事業提案書 No.6**

**【事業概要】**

昨年度に引き続き、PI-Forum の活動主旨に合致する受託事業について取り組むこととしたが、予定していた北海道でのセミナーは主催者側の予算縮小により中止となったほか、中立的立場での現場支援体制の試行については対象案件の絞込みにいたらず、業務実施はできなかった。IT系の講座は開催の検討は行ったものの、開催予算の確保ができず、開催には至っていない。

**【事業成果】**

上記の結果を踏まえ、前述の懇談会に本事業のメンバーも参加し、今後、開催の原資となる費用の捻出をこれまでの第三者による資金提供のみにたよらず、国や研究機関の研究予算へのエントリーや会費収入のアップ、企業会員の増加等によって確保することに次年度は取り組むこととする。

## PIナレッジの体系化（担当：石川） 事業提案書 No.7

### 【事業概要】

利用者の視点から PI に関するナレッジを再整理したいという前年度の活動を受け、PI を含む合意形成の入口知識にあたるものは何かを研究する。合意形成・紛争解決の場面に初めて接する人が「役に立つ」と実感できるような情報群の整理を目指す。これらの整理・分析がうまくいった場合には、社会に対して何らかの形（例えばホームページなど）で提示する。

### 【事業成果】

東京大学大学院情報学環と共同で合意形成入口知識研究会（研究員、コンサルタント、学生、学者などが参加）を 7 回開催した。合意形成の入口知識として効果的と思われる知識や手法の整理軸について議論すると共に、多様な知識や情報を整理するためのツールの試行なども行った（例えば、KHCoder と呼ばれるテキストマイニングによって、テキストから構造を抽出する試みや、PAC 分析と呼ばれる概念構造整理手法などを試みた。）今後、一般向けの分かり易い整理とともに学術的な発表についても検討している。

## 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名    | 事業内容                       | 実施日時        | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数                 | 支出額(千円) |
|--------|----------------------------|-------------|------|--------|------------------------------|---------|
| 広報啓発事業 | PI-Forum 誌発行事業             | 12 月        | -    | 8 名    | PI-Forum 会員 (32 名) 及び HP 閲覧者 | 0       |
|        | PI-Forum 年次セミナー-2009 (懇談会) | 2/26<br>3/4 | 東京   | 15 名   | PI-Forum 会員 15 名             | 0       |
|        | 異分野 PI 交流ワークショップ           | -           | -    | -      | -                            | 0       |
|        | 連続セミナー                     | -           | -    | -      | -                            | 52      |
| 研究開発事業 | PI 指針と倫理・評価に関する規定展開事業      | -           | -    | 5 名    | PI-Forum 会員                  | 0       |
| 現場支援事業 | 現場支援事業の試行                  | -           | -    | -      | -                            | 0       |
|        | PI ナレッジの体系化                | -           | -    | 4 名    | PI-Forum 会員                  | 0       |

### (2) 収益事業

今年度は、収益事業は行わなかった。

### 収支決算

(別添、資料 2 「平成 20 年度収支決算関係資料」参照)

#### 1. 財産目録

別添、資料 2 の通り

#### 2. 貸借対照表 (特定非営利活動に係る事業 / 収益事業)

別添、資料 2 の通り

### 3. 収支計算書（特定非営利活動に係る事業／収益事業）

別添、資料2の通り

#### その他

前年度において役員であったことがあるもの全員の名簿及びそのうち前年において報酬を受けたことがあるもの全員の名簿（別添、資料3の通り）、前事業年度の社員名簿（別添、資料4の通り）。

以上

## 第2号議案：平成22年度理事会運営等について

### 1. 理事会の運営方針

理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。(第15条)こととなっている。

平成22年度の理事会の運営にあたっては、これまでの経験を踏まえて、以下の方針で臨む。

1) 理事会は、法人運営に対する経営責任があることを十分に認識し、法人として実施する各事業に係る協議・運営事項に関して情報共有をはかり、相互に協力して必要な措置を速やかに講じる。各理事においては担当事項について責任を持ち、期限を遵守して責務を果たすこととするほか、経営の重要な会議である理事会への出席を必須とし、やむを得ず欠席の場合は議題に対して事前に資料や意見を取りまとめたレポートを提出することとする。

2) 理事会は、事業毎に理事以外のメンバー(会員)による研究員を任命し、プロジェクトベースで実務を担当いただくこととする。

3) 理事以外に評議員を任命し、事業のアイデア出しについてのアドバイスや事業推進のサポートをいただくこととする。

| 種別   | 役割  | 会員種別         |
|------|---|--------------|
| 理事   | ・NPOの運営(継続と発展)<br>オペレーション上の義務・運営ルール(四半期ごとの運営会議など) | 会員<br>利害相反禁止 |
| 評議員  | ・アイデア出し、事業評価、<br>アドバイス等                           | 会員または非会員     |
| 研究員  | ・事業の提案、実施   | 会員           |
| 事務局員 | ・NPOの運営事務<br>・事務局員                                | 非会員          |

4) 理事の再任及び就任、監事・評議員の就任について平成22年度第2回理事会にて議決した結果について承認する。なお、本件については平成22年6月25日付で有効とする。

### 2. 事務局体制の検討

1) 本NPOのセミナーをはじめとする事業のほとんどが実施される東京において、事業の事務局業務や実務支援を担う「東京事務局」の設置を検討する。具体的には各種セミナーにおける現地での会場確保や備品調達、当日受付などの事務業務のほか、受託研究等の現場を含めた業務のサポート等を実施する。

### 3. 研究体制の充実

1) プロジェクト単位で実務を行う客員研究員を理事会により任命する。研究員にあたっては、有償にて研究業務やセミナー講師等を担うこととするほか、PI-Forumの企画・運営にかかる会議について積極的に参加し、事業の企画にも関わることとする。また、研究員はPI-Forumの理事会で承認の上、PI-Forumとして研究助成等へのエントリーを行うことができるほか、事業担当者は理事に限らず研究員も担当として名前をあげることができることとする。

なお、研究員は理事 1 名以上の推薦が必要とし、任期は 1 年間で再任は可能とする。

#### 4 . 会費の変更

1 )PI-Forum の財務基盤の強化及び自主事業の積極実施に向け、年会費を以下のとおり改定し、平成 2 2 年度分の会費より適用する（ 入会日はこれまでどおり ）。

| 会員種別   | 会費             |  |
|--------|----------------|--|
| 正会員    | ¥10,000.- /年   | 議決権あり。総会出席義務あり。会員として、事業への積極参加。<br>HP に執筆原稿報告できる。<br>PI-Forum のデータベースにアクセスすることができる。 |
| 賛助会員   | ¥5,000.- /年    | 議決権はなし。総会出席義務なし。<br>PI-Forum のデータベースにアクセスすることができる。                                 |
| 企業賛助会員 | 一口¥10,000.- /年 | Pi-forum の HP のトップにバナー広告貼れる（二口以上）<br>PI-Forum のデータベースにアクセスすることができる。                |

## 第 3 号議案：定款変更について

---

1) 定款 第 4 章 第 13 条 (下記参照) において、役員の人数を「理事 7 人以上 15 人以内」を「理事 5 人以上 9 人以内」に変更する。

### 第 13 条

この法人に次の役員を置く。

- (1) 理 事 7 人以上 15 人以内
  - (2) 監 事 1 人
- 2 理事のうち、1 人を理事長、1 人を副理事長とする。

## 第 4 号議案：平成 22 年度事業計画等について

---

別紙提案書参照

以上